

## 「水道出前講座」の開催報告について

山武水道では、私たちの生活に欠かすことのできない水道について関心、興味を持ってもらうことを目的に、九十九里地域水道企業団から協力を受けて、小学校4年生を対象に「水道出前講座」を実施しました。

### 実施日

平成26年6月18日 東金市立豊成小学校 48名

### 講座の内容

- ①水の流れ（水源から蛇口まで）DVD上映  
九十九里地域水道企業団作成のDVDの上映により、利根川からの水が浄水場できれいになる様子の学習
- ②凝集沈殿の実験  
川の水に凝集剤を添加して、凝集沈殿の様子の観察
- ③学校の水の「残留塩素」「PH」の測定  
児童による、残留塩素・PHの検査体験
- ④水1立方メートルについて簡単なお話
- ⑤各種水道管の展示  
ポリエチレン管、水道メータ、木樋の展示

以下に、出前講座の様子と豊成小学校の生徒たちの感想を掲示します。





## 子供たちの感想

- 今日は、ありがとうございました。この勉強をして、だんだんわかってくると楽しくなりました、わたしたちの、のむ水は、利根川からきて、栗山川へいって、しかも東金浄水場から、大網、東金、成東のどちらかの配水場へ行って、水道管を通過して、わたしたちの家や学校などに行く長い旅をしていることは、知りませんでした、でもよく聞いて、ノートへ書いているうちに、もっと知りたいなと思ってきました、それで、ノートへたくさんのかき書きました、今日来てくださって本当にありがとうございました。
  
- 今日は豊成小学校にきてくださって、ありがとうございました、ぼくは、水が利根川という川から、きていることがわかりました、水の実験では薬の入ったスポイトで、水をすって、色がかわったので、びっくりしました、ぼくは、じょう水じょうがあるから、ぼくたちが、きれいな水を、のめるんだと思いました、さいごに、昔の水道をみせてくれて、ありがとうございました。
  
- この前は、水道出前講座に来ていただいて、ありがとうございます、山武水道では水道管が全部で約 1400 kmあり、千葉県から沖縄県までの直線距離と同じくらいある、ということがわかり、山武水道の水道管をたどっていくと沖縄県までいけると思うと、すごくおどろきです、ぎょう集剤を使った実験では、水道の水が、私たちの飲む水に、てきしている事がわかりました、水の水しつの実験では、さんせいでもなく、アルカリせいでもない水が、私たちの飲む水道水は、にが味もなく、さん味もない、おいしい水だということが、わかりました。用意してくれた、川の水に薬をまぜてものをふると、みるみるよごれが、下にたまって、上の水がきれいになりました。私が家や学校で、あてりまえのように使っていた水が山武水道のみなさんのたくさんのかき書ろうで安心で安全な水が飲める事がわかりました、水は地球の大切なしげん、これからは水を大切にします。
  
- ペットボトルに川の水を、ぎょうしゅうざいが入っていて、ふるとゴミやばいきんがしずんでいくことが、よくわかりました。学校のプール約 140 個分のことや、1日 50,000 立方メートル以上の給水をしていることをいねいに、おしえてくれて、よくわかりました。他には、PHやえんその実験はとても勉強になり、これからは、水をたいせつに使っていきたいです。ありがとうございました。
  
- ピーエイチのけんさをして、学校のお水が、すっぱいか、にがいか、ふつうかをグループでやりました、学校の水のお水は 6.5 くらいになりました。そして、学校の水のお水は、ふつうなことがわかりました、あと、えんそのけんさを、グループでやりました。そしたら、0.4 くらいでしたので、学校のお水は、おいしいお水なことがわかりました。これからは水を大切にしていきたいです。ありがとうございました。

○ ふだん、なにげなく使っている水が、利根川から、じょうすい場や、配水場から、水どうかんを長いたびをして、やっと 1400 k m たどって、水道水がきているということが、はじめてしりました、また 4 つの配水場から 1 日 50,000 立方メートルときいたときは、びくしてしまいました、また、1 立方メートルはふつうの、おふろのやく 3 倍だったとは、はじめてしりました、これからは、水のむだづかいをやめて、きちんとつかって、ルールを守って使っていきたいです。ありがとうございました。